

# なかの 市議会だより

4月号

平成29年4月20日発行  
No.48

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会  
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール [gikai@city.nakano.nagano.jp](mailto:gikai@city.nakano.nagano.jp)



みなみ保育園

開所



●市政一般質問	陳情	請願	決議	意見書案		人事案	事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
43件	1件	1件	1件	3件	1件	4件	1件	12件	1件	9件	18日間	3月17日	2月28日
	不採択	採択	可決	可決	適任	同意	可決	可決	承認	可決			

3月定例会



### 市長の政治姿勢について

阿部 光 則

**質問** いわゆる共謀罪法案の危険な本質が露わになってきた。密告や盗聴による監視社会を招き、自由に発言できない殺伐とした社会に進む恐れがある。この法案への市長の見解は。

**答弁** 国家の安全にかかわる事項であることから、国において、その必要性、適要件などを十分に議論していただきたい。

**質問** 規制改革推進会議が発表した農協改革案は、農家と農協とを、農協とJA

全農とを分断させるものである。改革案を踏まえた農業競争力強化プログラムは、農業所得の増大などを謳っているが、農家及び農協の弱体化につながるものである。このプログラムに対する市長の見解は。

**答弁** 農業競争力強化プログラムは、農業者の所得向上を目的に、生産資材価格の引下げや流通・加工の構造改革など13項目を掲げており、農業者にとって有益となるよう期待をしている。

**質問** 情報セキュリティ管理の担当部署はどこか。



### 市役所内で使用するパソコンの情報セキュリティ管理について

小林 忠 一

**質問** 情報セキュリティ管理の担当部署はどこか。

**答弁** 総務部政策情報課が担当している。

**質問** 情報の管理体制及び管理責任者を定めているか。

**答弁** 中野市情報セキュリティポリシーを定め、副市長を最高情報統括責任者、総務部長を情報統括責任者、各部等の長を情報セキュリティ責任者とし、全庁的な管理体制を整えている。

**質問** コンピュータウイルスの防御策及び感染が確認された場合の対応は。

**答弁** ウイルス対策ソフトを導入しており、万が一、感染を確認した場合には、

### 除雪について

**質問** 1月中旬の大雪における除排雪の対応は。

**答弁** 除雪に係る計画に基づき、委託契約を締結した市内の43業者により除雪を行った。しかし、降雪量が多く、また、降雪ピークが通勤時間帯と重なったことから、除雪が追いつかず、通行に支障が生じることとなった。

**質問** 今後も想像を超えた大雪が心配される。今回の大雪を教訓とし、除雪体制を整える必要があるのでは。

**答弁** 今回の経験を活かして、大雪時に対応できるよう除雪体制を検討する。

### 大雪による農業被害への対応について

**質問** 大雪による農業被害の実態と支援策はどうか。

**答弁** 2月15日時点での被害額は924万2千円である。支援策として、農道除雪への経費負担、消雪剤の提供、復旧作業への職員の派遣を行った。現在、資材等への支援は考えていない。

**質問** 介護予防・日常生活支援総合事業が新たに始まり、要支援者の介護サービス制度が変わるが、どのように進めているのか。

**答弁** 事業者及びケアマネージャーに対し説明会を

開催した。要支援認定者には、更新にあわせて周知を行う。

**質問** 要支援者が利用する介護保険サービスの一部が市独自の事業に移るが、サービスの維持は可能か。

**答弁** 現行サービスに相当するサービスは継続する。また、短期集中型サービスなど、多様なサービスの開始に向け準備を進めている。

**質問** 介護予防・日常生活支援総合事業が新たに始まり、要支援者の介護サービス制度が変わるが、どのように進めているのか。

**答弁** 事業者及びケアマネージャーに対し説明会を

**質問** 個人情報の管理について

**質問** 情報系端末と基幹系



端末は切り離されているか。

**答弁** インターネットに接続された情報系端末と市民の皆様の個人情報扱う基幹系端末は、別々の端末を利用しており、物理的に分離されている。

**質問** 基幹系パソコンの管理及び使用者認証はどのように行っているのか。

**答弁** 端末操作が可能な職

員を限定し、端末へのアクセス及びシステムの起動にはパスワード入力が必要としている。なお、本年度にICカード認証を進め、二要素認証の導入を図る。

**質問** パソコン及び記録媒体の管理方法は。紛失又は盗難に対する備えは。

**答弁** 業務上必要がある場合には、事務室から端末を

持出し作業を行うことがあるが、端末機等を保管する区域の施錠を徹底している。紛失及び盗難に備え、データはサーバーへ保存するよう周知している。

**市が実施するイベント等の広報について**

**質問** イベント等の開催案

内を分かり易く掲載するなどし、市ホームページ等の充実を図るべきでは。

**答弁** イベント情報等は、各種媒体を活用し、情報発信を適時実施していく。市ホームページでも分かりやすい広報を行っていく。

### 投票率の向上に向けて

町田 博文



**質問** 昨年行ったアンケート調査の結果はどうか。

**答弁** 1千25人から回答があり、回収率は34・2%であった。低投票率の原因として、政治に対する不満又は無関心が多く、関心があっても投票を行わない状況もある。この結果は、全国的な傾向であり、中野市特有の傾向は見られなかった。

**質問** 期日前投票の宣誓書を入場券に印刷できないか。

**答弁** 他市の入場券の内容、

体裁等を確認し、今後、研究していく。

**質問** 病院等における不在者投票の立会人はどのように選定しているのか。

**答弁** 市内7つの施設が不在者投票施設として指定を受けている。立会人は市選挙管理委員会が選定した方を選任していただいている。

**奨学金返還の支援について**

**質問** 中野市奨学金基金の利用状況はどうか。

**答弁** 貸与中の奨学生は22人、償還中は50人である。

**質問** 国等の奨学金を利用した中野市出身者で、本市に戻って働く方の人数は。

**答弁** 把握していない。

**質問** 市の奨学金基金を利用した方で、本市に戻って働く方の人数は。

**答弁** 償還中の方のうち、約半数が中野市内に住所を有している。

**質問** 奨学金を返還している方が、市内に定住した場合、返還金の一部を補助できないか。

**答弁** 市の奨学金を償還している方が市内に定住した場合、条件付きの償還免除制度を検討していく。市以外の奨学金を償還している方については、近隣市町村

の動向を踏まえ、今後研究していく。

**遊休荒廃農地について**

**質問** 遊休荒廃農地の判断基準は何か。

**答弁** 耕作されていないが再生利用が可能な農地をA分類、森林、原野化して農地に復元しても継続利用が不可能な農地をB分類としている。

**質問** 農地パトロールの調査結果はどうか。

**答弁** 平成28年度では、市の耕作面積3千686haのうちA判定が247ha、B判定が322haであった。

**質問** 所有者が不明な農地の状況はどうか。

**答弁** 農地全体の11%が所

(注) 長野県自治体情報セキュリティクラウド  
県及び各市町村における情報セキュリティ水準の確保を図るため、県及び市町村のインターネット接続口を集約し、集中して高度な監視を行うセキュリティシステムのこと。

有者不明な農地であった。  
**質問** 農地パトロールによる確認後、遊休荒廃農地の所有者に対し、利用意向調査を文書で通知されたが、対象者向けの説明会を行ったらどうか。

**答弁** 今後検討していく。

その他の質問  
新市民会館の建設と美術品の収蔵庫について  
子どもの医療費窓口無料化について  
水道水の安定供給の確保について

小型家電の回収について  
老人クラブの会員増加策について



### 教育行政について

芦澤 孝幸

**質問** スクールバスの運行基準及び運行状況はどうか。

**答弁** 運行基準については、原則として、文部科学省による通学距離の基準とされている4km以上として

いるが、地理的条件にも配慮して運行している。運行状況については、現在、高丘小学校、豊井小学校及び永田小学校が通年、平野小

学校が冬期のみ、それぞれ各1台を運行させており、利用者は合計で26人である。

**質問** 今後のスクールバスのあり方をどう考えるか。

**答弁** 地域の実情を考慮したうえで、研究していく。

### 大雪時の除雪について

**質問** 大雪時の排雪対応を

どう考えるか。

**答弁** 排雪は、ロータリ除雪車により行うことが効率的かつ効果的であるが、高

額であることから、増強については研究課題としたい。当面は、除排雪が既に完了した工区からの応援体制の整備、また、個人事業者への

の応援要請により対応する。

**質問** 除雪に関して、区への説明等は十分であったか。

**答弁** 各区への除雪委託契約時に、留意事項を確認していたと考えている。

**質問** 区が行う狭あい道路の除雪に係る委託料額は、

どのように算出しているか。

**答弁** 除雪延長などから算出している。

**農業振興について**

**質問** 新規就農里親制度の利用状況はどうか。

**答弁** 里親の登録者数は、7人である。研修者は、修了した方が4人、現在、研修中の方が2人である。修了者のうち、3人が市内で就農している。

**質問** 里親及び研修者への支援はどうか。

**答弁** 里親に対する支援は、県及び研修者からの指導謝金である。研修者に対する

支援は、市の単独補助として、農業後継者研修支援事業、国の補助として、青年就農給付金の準備型、長野県農業担い手育成基金の補助として、先進的経営等における研修費助成がある。

**新規就農里親制度**  
(注) 就農希望者の支援に積極的な農業者を「里親」として登録した後、就農希望者に紹介し、里親が農業研修を支援する、長野県が創設した制度のこと。

就農希望者は、就農までのプランを作成し、里親の指導のもと就農を目指す。



### 保育行政について

保科 政次

**質問** 保育士の正規職員数と嘱託・臨時職員数の状況は。

**答弁** 保育士の正規職員と嘱託・臨時職員の人数を比較すると、嘱託・臨時職員が多い状況であるが、県条例で定める基準を満たすよ

う配置しており、保育に影響はないと考えている。

**質問** 嘱託・臨時職員の報酬及び賃金の状況は。

**答弁** 正規職員の給与は、国の人事院勧告に沿って適切に改定を進めており、嘱託・臨時職員の報酬及び賃

金についても、他市の状況などを参考とし、正規職員との整合を図りながら改善に努めてきている。

**質問** 男性保育士の採用状況は。

**答弁** 男性保育士が活躍することにより、男性も積極的に子育てを行う環境が醸成され、保育の質の向上や更なる子どもの健全な成長につながることを考えている。

採用にあたっては、性別にかかわらず、公正な採用選考を行っている。

### 食品ロスの削減について

**質問** 食品ロスの発生量及び割合はどうか。

**答弁** 事業系一般廃棄物の総量把握が難しいことから、市では把握していない。

**質問** 食品ロス削減への取組状況は。

**答弁** 全県的に展開されている「30・10運動」の市内への周知徹底を図っていきたい。また、「中野市環境基本計画」に食品ロス削減の重要性を掲げ、併せて啓

発していく。

(注) 30・10をまるいちまる運動  
まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」の削減を目的とした運動のこと。  
具体的には、次の3項目に取り組み。会食、宴会では、①適量を注文する。②乾杯後30分間は席を立たず料理を楽しむ。③お開き前10分間は席に戻り、再度料理を楽しむ。



就学援助制度の拡充について

青木豊一

**質問** 新年度、国では新入  
学児童生徒学用品費を増額  
するが、市も増額するのか。

**答弁** 国において増額され  
た場合には、市も国と同額  
を支給するように検討する。

**質問** 新入学児童生徒学用  
品費は、入学前に支給すべ  
き。市の支給時期はいつか。

**答弁** 入学前支給の実施を  
前向きに検討する。

市長の政治姿勢について

**質問** 公共施設等適正管理

推進事業債（仮称）を新庁  
舎建設に活用すべきである。

**答弁** 起債活用の要件、今  
年度の起債の取扱いなどの  
詳細を県に確認している。

**質問** 沖縄県でのオスプレ  
イ墜落事故の原因究明がな  
されないまま、日米共同訓  
練が行われることは問題で  
ある。軽井沢町、御代田  
町、立科町では、オスプレ  
イの飛行訓練等に異議を唱  
えている。市長の見解は。

**答弁** 市民の安全確保の観  
点から、引き続き、県や市

長会等と連携し、安全性の  
確保を要請していきたい。

**質問** 日本国憲法は、戦争  
を放棄している。オスプレ  
イが中野市の上空を飛行す  
ることは問題ではないか。

**答弁** 県や市長会等で行っ  
た国への要望にて、安全性  
確保の意志を表明している。

**子ども・障がい児の医療費  
窓口無料化について**

**質問** 新年度、中野市が医  
療費窓口無料化を実施しな  
い最大の理由はなにか。

**答弁** 県で窓口無料化につ  
いて議論を行っており、ま  
た、県下統一の実施が望ま  
しいと考えているため。

**質問** 窓口無料化の遅れ  
は、人口減少、少子化克服

等と逆行するのではないか。

**答弁** 窓口無料化の円滑な  
実施のため、県としての統  
一した取り組みと財政支援  
を県に要望したい。

**質問** 中野市が、窓口無料  
化を実施する時期はいつか。

**答弁** 国の医療制度改革が  
行われる平成30年4月1日  
以降の導入を検討する。

**質問** 県の福祉医療費給付  
検討会に子育て中の父母が  
参加していない。父母の意  
見を入れずに結論を出すこ  
とは問題ではないか。

**答弁** 検討会の体制等に課  
題があるようなら、市長会  
等で発言をしていきたい。

**質問** 県が関係機関へ示し

る。

**質問** 市職員が区の地域振  
興等の支援をしてはどうか。

**答弁** 全市への展開は困難  
である。「中野のチカラ応  
援交付金」等により地域の  
活動を支援していく。

**質問** 市職員が区の地域振  
興等の支援をしてはどうか。

**答弁** 全市への展開は困難  
である。「中野のチカラ応  
援交付金」等により地域の  
活動を支援していく。

**質問** 市職員が区の地域振  
興等の支援をしてはどうか。

**答弁** 全市への展開は困難  
である。「中野のチカラ応  
援交付金」等により地域の  
活動を支援していく。

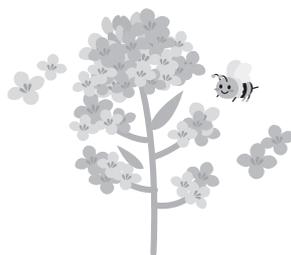


地域振興について

永沢清生

**質問** 「中野市まち・ひ  
と・しごと創生総合戦略」  
に盛り込む、移住定住促進  
住宅整備事業の進捗状況は。

**答弁** 先進地の事例等の研  
究を進めてきた。先進地に  
おいても課題が多くある  
が、今後、若者及び子育て





**防災行政無線デジタル化  
整備事業について**

堀内 臣夫

**質問** デジタル化整備事業の進捗状況はどうか。

**答弁** 今年度中に、厚貝中継局及び豊田地域のデジタル化工事が完了し、4月から豊田地域でデジタル無線による放送が可能となる。

**質問** デジタル化整備事業のメリットは何か。

**答弁** 文字情報が送信可能となるため、聴覚に障がいのある方に対し、文字情報表示機能付き戸別受信機を配備することができる。また、音声合成機能を使用し

た、放送することにより、より明瞭な放送が可能となる。

**大雪への対応について**

**質問** 1月13日から続いた連日の大雪時、市民からの苦情の件数は。

**答弁** 市に寄せられた苦情は、108件であった。

**質問** 除排雪に要した直近3年間の費用額は。

**答弁** 平成26年度は3億6

千300万余円、平成27年度は1億1千300万余円である。本年度は当初予算1億4千574万9千円に加え、既決予算の流用、また、1億8千800万円の補正予算を専決処分し、更に2月以降の出勤に見込まれる1億1千万円の補正予算を計上した。

**質問** 円滑な除排雪のため今後、どう取り組むのか。

**答弁** 今回の経験を踏まえ他工区からの応援体制を整備するなどし、柔軟な対応を図り、出勤基準の見直しや近隣市町村の除雪計画等を参考とした検討を進める。

**質問** 行政・自治会及び委託業者を含めた、三位一体の地域ぐるみの取り組みを

上に取り組んでいる。

**質問** 全国学力・学習状況調査の結果をどのように活用しているのか。

**答弁** 各教科に見られた課題について校長会及び各学校で検証等を行った。今後、一層の授業改善に活かすとともに、自ら学ぶ習慣づくりや家庭学習の充実を図り、学力の向上につなげていく。

図る考えは。

**質問** 今後、研究していく。医師確保対策事業について

**質問** 北信総合病院の医師不足の実態は。

**答弁** 部門によっては、日によって医師が手薄となる診療科もある。更なる医療体制の充実を図るためにも医師の確保に努める。

**質問** 地域医療従事医師奨学資金貸付金の利用状況は。

**答弁** 平成18年度から事業を実施し、現在まで9人の医学生に貸与している。既に5人が医師となっており、その内、3人が北信総合病院に医師として従事し、他の2人についても、

今後、北信総合病院に医師として従事する予定である。

**質問** 北信総合病院の医師確保の今後の展望は。

**答弁** 平成29年度は、中野市地域医療従事医師奨学資金を利用した医師が3人、JA長野厚生連奨学貸付金を利用した医師が1人、信州大学からの派遣医師が1人、北信総合病院へ医師として従事する予定である。

その他の質問

**まちづくりについて**



**統合準備委員会について**

**質問** 当初の予定より統合準備委員会の委員数が少ないが、今後の補充はあるか。

**答弁** 現時点では、現在の人数で委員会を進めたい。

**質問** 現在の委員数で委員会は機能するのか。

**答弁** 機能すると考えている。



**学校教育について**

松野 繁男

**質問** 小学校及び中学校の学力向上への取り組みは。

**答弁** 小学校では、創意工夫を凝らし、教育計画に基づく指導を行っている。中

学校では、生徒同士で学習上の課題を共有し、分からないことを教え合い、支え合う、「学び合い」による授業改善を行い、学力の向

上に取り組んでいる。

図る考えは。

今後、北信総合病院に医師として従事する予定である。

北信総合病院の医師確保の今後の展望は。

子育て施策について

**質問** 発達障がい（注意欠陥多動性障害）のある児童への対応は。

**答弁** 早期に発見し、支援していくことが大切である。保護者、関係機関等と連携して対応している。

**質問** 子ども相談室と教育

委員会との連携はどうか。

**答弁** 子ども相談室及び教育委員会の相談員、発達障がいサポートマネージャーでチームを組み、市内の保育所等を巡回し、適切な支援方法を指導している。年長児は、教育委員会が行う教育相談につなげ、就学後も教育委員会及び小学校が

連携し対応している。

**旧合併特例事業債の発行状況と今後の予定について**

**質問** 起債の発行期限まであと4か年である。発行状況と今後の予定は。

**答弁** 本市における発行可能総額は、90億2千400万円

である。実施計画に計上している平成31年度末までの発行予定額は、84億8千880万円、発行可能残額は、5億3千520万円である。

**質問** 市道大俣線改良工事への起債残額の活用は。

**答弁** 現在、国の社会資本整備総合交付金と公共事業等債を活用しており、1事

業1起債の原則から、起債残額の活用はできない。

その他の質問  
「小さな拠点」の取り組みについて



空き家について

原澤 年秋

**質問** 最も危険性が高いと判定された10戸に対する取組状況はどうか。

**答弁** 9戸に適正な管理を促す通知を行った。9戸のうち3戸からは、解体等を行う旨の意思表示があり、その内、1戸は既に除却を確認した。残る1戸にも適正な管理を促す通知を行う。

**質問** 今後の進め方は。

**答弁** 空家等の状態変化や新たに発生した空家等の把握を行うため、市職員による現地調査や市民からの通報により現地確認を行い、

情報の更新を行う。危険性の高い空家等について、解決の意向が示されない場合は、法令に基づく対策を進める。また、利活用を図ることも重要であり、県の宅建協会長野支部の協力をい

ただき、空家活用相談会を定期的に開催し、空家バンクへの登録数の増加を図る。

**「中野市公共施設等総合管理計画」の進捗状況について**

**質問** 進捗状況はどうか。

**答弁** 今後10年間の個々の公共施設の再配置を定める「中野市公共施設最適化計画」の策定を進めている。この計画は、市有の公共施設、286施設を対象に、必要な機能は維持しつつ、長寿命化、複合・集約化、統廃合等の方向性を示し、可能な限り次世代に負担を残さない、効果的かつ効率的なあり方を示すものである。策定に当たり、公共施設最適化部会を設け、全庁的に取り組んでおり、原案を3月中に市民や議員の皆様に提示し、ご意見を伺う予定である。

**地方公会計について**

必要な市民サービスを持続的に提供するため、公共施設の20%縮減を進めていく。

**質問** 本市の導入見直し及び県内18市の導入状況は。

**答弁** 統一的な基準による地方公会計の整備は、国からの要請であり、本市では平成28年度決算から導入する予定で整備を進めている。県内18市のうち、3市は既に導入済み、15市は本市同様、平成28年度決算からの導入予定である。

その他の質問  
雪害対策について

年度末時点での必要な項目は全て整備済みである。今後は、新年度当初にかけて、平成28年度末時点の資産状況の整備を進める。





## 保育園及び小学校での体幹（コア）トレーニングの導入について

青木正道

**質問** 近年、幼児期の子ども達は、体を使って遊ぶことが減っている。体を動かす楽しさが感じられるよう保育園で体幹トレーニングを導入してはどうか。

**答弁** 保育所では、保育所保育指針に基づき、各年齢に応じた内容による遊びを通じた体力づくりの計画を定め、毎日実施している。今後も引き続き、園児の状

況に応じた適切な体力づくりができるよう研究していく。

**質問** 文部科学省の調査結果によると、スポーツをしない児童・生徒は、スポーツをする児童・生徒に比べ、明らかに全国学力・学習状況調査の正答率が低い。統合予定の小学校をモデル校として、スポーツの一助となる体幹トレーニング

グを導入したらどうか。

**答弁** 各小学校では学習指導要領に基づき、児童の健康の保持、増進と体力向上のため、発達段階に応じた指導を行っている。現在、モデル校の設置は考えていないが、今後、学校とともに研究していく。

### 除雪について

**質問** 今後の除雪体制の改善のため、区に貸与している除雪機により市道の除雪を行った場合、区へ補助を行うべきではないか。

**答弁** 区に対しては、除雪に係る委託料をお支払いし

ている。豪雪等の緊急時には、通常の路線以外の除雪をすることもあり得るため、今後は稼働状況に応じた委託料の算出を検討する。

討を行う。

**質問** 道路除雪が間に合わない場合は、道路を一方通行にし、車両の円滑な通行を確保すべきではないか。

**答弁** 除雪優先路線の除雪を早期に行い、幹線道路の円滑な交通を確保したい。

**質問** 今回の大雪を教訓とし、区長及び市民向けに、「広報なかの」へ区内の除雪に関する具体的なマニュアルを掲載できないか。

**答弁** 今回の大雪時における除雪の反省点を踏まえ検

### 国旗・市旗の掲揚について

**質問** 昨年の市政功労者・善行者表彰式において、国旗・市旗の掲揚がされていなかったのはなぜか。また今後掲揚する考えはあるか。

**答弁** 市政功労者・善行者表彰式では、会場の天井高や壁の形状から掲揚できなかったが、今後は掲揚する。

## 総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された、条例案4件、予算案4件、陳情2件について、3月9日、10日に審査しました。

主なものは、条例案では中野市防災広場条例案で、地域の防災拠点の確保等を目的とする防災広場の設置に関して必要な事項を定めるもので、原案どおり可決

されました。

予算案では、平成28年度中野市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告については、歳入において、この冬の大雪に伴い、当初予算に計上した除雪事業費に不足が生じたため、1億8千800万円を追加し、補正後の予算総額を235億8千547万8千円とするも

ので、原案どおり承認されました。

平成29年度中野市一般会計予算については、総額は224億1千400万円であり、議会費1億8千387万6千円、総務費（関係部分）53億4千197万2千円、消防費7億4千462万5千円、教育費16億9千673万7千円、公債費22億3千936万9千円、予備

費4千万円とするものであり、他の特別会計当初予算1件と同様、原案どおり可決されました。

陳情では、「最低制限価格の設定に関する陳情」については、趣旨理解できる面とできない面があるとなりました。また、「『テロ等準備罪』、いわゆる『共謀罪』を新設する組織犯罪処

罰法改正案に反対する陳情」については、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により不採択となりました。



## 民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された、条例案2件、予算案5件、請願1件について、3月9日、10日に審査しました。

主なものは、条例案では中野市消費生活センター条例案で、消費生活に関して事業者に対する市民からの相談が増えていること等から、専門的な知識を有する相談員を配置し、これらの相談に適切かつ迅速に対応するため、消費生活センターを設置するものであり、原案どおり可決されました。

予算案では、平成28年度

中野市一般会計補正予算（第6号）について、歳出のうち民生費では、自立支援事業費で障害者総合支援法等のサービス給付費について、生活介護給付費、就労継続支援給付費等の利用者数が増加したことに伴い7千406万9千円を増額するものなどであり、原案のとおり可決されました。

平成29年度中野市一般会計予算について、総務費（関係部分）2億9千73万4千円、民生費60億7千344万2千円、衛生費18億1千194万2千円とするものであ

り、他の特別会計当初予算3件と同様いずれも原案どおり可決されました。

廃棄物最終処分場建設計画に反対する請願については、採択といたしました。

審査終了後、特定非営利活動法人くらぶD Oが運営する放課後等デイサービス事業所、のぞみの郷高社が運営する総合安心センターはるかぜを視察しました。



◀特定非営利活動法人くらぶD O 放課後等デイサービス事業所



◀のぞみの郷高社 総合安心センターはるかぜ

## 経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された、条例案3件、予算案9件、事件案1件について、3月9日、10日に審査しました。

主なものは、帯の瀬農産物加工施設条例を廃止する条例案で、同施設を障がい

者の農業分野での就労促進に取り組む農福連携事業の拠点施設とし、障がい福祉サービスの充実を図ることに伴う条例廃止であり、原案どおり可決されました。

予算案では、平成28年度中野市一般会計補正予算

（第6号）について、歳出のうち土木費では、除雪事業費1億1千万円の増額などであり、原案どおり可決されました。

平成29年度中野市一般会計予算では、労働費6千601万7千円、農林水産業費11

億3千986万3千円、土工費7億7千651万7千円、土木費20億890万6千円とするものであり、他の特別会計及び企業会計の当初予算4件と同様、原案どおり可決されました。



## ■意見書

(可決された意見書)

(関係行政庁に提出)

## 子ども及び障がい者の医療費窓口無料化の一刻も早い実現を求める意見書

今日、子どもがいる若者世帯、ひとり親世帯及び障がい者が、経済的な心配をすることなく、安心して医療を受けられる機会が保障されるよう、福祉医療費給付制度を改善することが強く求められている。

これまで、子ども及び障がい者の福祉医療費制度については、県や市町村において、その対象年齢等を拡大し、充実を図ってきたところである。

しかし、窓口無料化を実施している都道府県が多くある中、一層の子ども及び障がい者の福祉充実を図るため、長野県においても現行の自動給付方式でなく、窓口無料化を実施すべきである。

よって、中野市議会は、県に対し、下記事項を実現するよう強く要望するもの

である。

記

1 子ども及び障がい者の福祉医療費の給付については、速やかに窓口無料化を実施すること

2 長野県福祉医療費給付事業検討会に、福祉医療費給付制度の対象者たる子どもの親及び障がい者を参加させること

## オスプレイの低空飛行訓練の中止を求める意見書

昨年12月13日夜、沖縄県名護市東海岸沖でMV22オスプレイが墜落し、また、別のオスプレイが普天間飛行場に胴体着陸するという重大な事故が連続して発生した。オスプレイの訓練が全国に拡大しつつある中、強い衝撃と恐怖心を覚えるものである。

長野県内では、MV22オスプレイの訓練ルートとして「ブルールート」が設定され、さらに、米空軍が横田基地に本年から配備するCV22オスプレイは、県内17市町村に渡る空域（エリ

アH）にて夜間低空飛行訓練を行うものとされている。こうした状況の中、長野

県では、昨年9月30日に県、県市長会及び県町村会の3団体が、防衛大臣及び環境大臣に対し、オスプレイの飛行訓練に関して、①飛行訓練の情報開示、安全性等に関する説明を行うこと、②日米合同委員会合意事項の遵守を在日米軍に強く求めること、③絶滅危惧種への影響を低減する対策を在日米軍に強く求めることの3点を要請した。

しかし、防衛省から具体的な情報は一切もたらされていない。

墜落事故の原因究明が十分果たされていない現状においては、住民の生命・財産に対する危険性が排除できず、オスプレイ飛行訓練の再開は容認できない。

よって、中野市議会は、政府に対し、オスプレイの低空飛行訓練に関し、住民の生命・財産を守るため、下記事項の実施を求めるものである。

記

1 墜落事故の原因究明が十分果たされない現状に

おいては、直ちにオスプレイの低空飛行訓練を中止すること

2 オスプレイの飛行訓練における実態を広く情報開示するとともに、その安全性や今後展開される運用全般の状況について、具体的内容を明確にした上で、関係自治体及び地域住民に対し事前に十分説明すること

3 住民や観光客に不安や懸念を抱かせるような飛行訓練が実施されないよう、飛行高度や区域等に関する日米合同委員会合意事項の遵守について、在日米軍に強く求めること

4 オスプレイの訓練区域は、イヌワシやライチョウといった絶滅危惧種の生息が確認されている重要な地域であるため、その生息環境に与える影響の低減に配慮した適切な対策を講ずるよう、在日米軍に強く求めること

## 廃棄物最終処分場建設計画に反対する意見書

飯綱町大字芋川前山地籍において、廃棄物最終処分場の建設計画が、株式会社明幸により進められており、近く事業計画概要書が長野県知事あてに提出される予定と聞いている。

地域住民により組織する「廃棄物処理施設建設反対飯綱町芋川区・中野市豊田地域連絡協議会」では、この建設計画が多くの懸念事項や問題点を抱えることから、到底受け入れることはできないとし、反対の取り組みを行っている。

建設計画については、地域住民が危惧する災害の発生、水質及び大気の汚染、交通安全の阻害及び道路問題など多くの課題が存在する。

このため、廃棄物最終処分場が建設された場合には、当該地域が将来に渡り、安全で安心して暮らせる地域であり続けることが懸念されるところである。

よって、中野市議会は、下記事項を理由とし、飯綱町大字芋川前山地籍への

廃棄物最終処分場建設計画に反対するものである。

記

1 建設予定地からの処理水、雨水等が谷沢川・斑川、斑尾川等に流入することにより、農業用水及び生活用水に利用されている当該河川の水質汚濁・汚染が危惧される

2 建設予定地に中野市南永江籠原簡易水道、庚申簡易水道及び野田簡易水道の水源が隣接しており、その水質汚染が危惧される

3 搬入車両の通行による交通安全の阻害、騒音、悪臭の発生等が危惧される

4 集中豪雨、地震などによる施設への直接的な被害及びそれに伴う二次被害の発生が危惧される

5 地域全体のイメージダウンと農産物への風評被害が危惧される

6 他の自治体では、民間の最終処分場が経営破た

んし、地元自治体が対策費を支出している事例もあり、建設計画事業者が最終責任を全うできるか懸念される

## ■決議

### 金子高幸議員に対する議員辞職勧告決議

我々中野市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分認識し、法令、条例を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならぬ。

とりわけ、男女共同参画社会基本法の理念に照らし、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」の実現に向けて、我々市議会議員が率先して高度

の倫理性と高潔性を備え、自覚ある振る舞いをしなければならぬ。

しかしながら、金子高幸議員は、平成26年5月7日、自ら所属していた市議会任意会派懇親会の席上、

酔余、当時来賓として出席していた女性職員に対して、その手を握り、肩を組む・背中から腰部をさする等の行為に及び、これを目撃した同席者からの注意にもかかわらず、しばらくの間これら行為を継続するなどした。また、同年12月12日、懇親会の席上、酔余、同席した女性職員のでん部を手で触るなどの行為に及んだ。

当該女性職員から、当該行為が「セクハラ」であった旨の表明がされるに至っていること、当該行為が女性を著しく侮辱する行為であり、周囲に明らかに不快な思いを与える点において極めて不謹慎な行為であると言わざるを得ない。

また、金子高幸議員が女性議員の家族に対して謝罪していること、相手方の女性議員からの被害申告に信用性に欠けるところがない

ことから、金子高幸議員が女性議員のでん部を手で触る行為に及んだこと、少なくとも女性議員が嫌がらせであると感じたことは明らかである。

なお、金子高幸議員は、平成26年12月24日、所属の市議会任意会派からの処分がなされた際には、格別の反論は行わなかったが、その後も従前と同様に宴席に出席し、自らの各行為を否定する発言を行うなど、およそ反省・悔悟している者の行動とは思われない振る舞いを継続している。

また、平成27年3月市議会定例会から平成28年12月市議会定例会まで、8回にわたり当該議会において議員辞職勧告決議が可決されたにもかかわらず、金子高幸議員が市議会議員の職を辞することはなく、誠意ある態度も取られていない。

なお、当該女性職員が行った刑事告訴に関して、金子高幸議員が書類送検された後、不起訴処分がなされたと報道されているが、当該女性職員は審査手続きを申し立てているとのことである上、仮に金子高幸議

員の各行為が刑事処罰を加えられるものではないとしても、それらの各行為が女性を辱め、周囲に明らかに不快感を与える極めて不謹慎な行為であるとの評価自体は何ら変わるものではない。

これらの行動は、良識ある行動を取らなければならない市議会議員としてあるまじき行為であり、市民の信頼を裏切り、中野市議会の名誉を著しく傷つけるもので、断じて許すことにはできない。

よって、中野市議会は、金子高幸議員に自らの良識と判断において、速やかに市議会議員の職を辞するよう強く求めることを決議する。

## ■請願

◎廃棄物最終処分場建設計画に反対する請願  
 請願者 廃棄物処理施設建設反対飯綱町芋川区・中野市豊田地域連絡協議会  
 会長代行 瀧澤 一夫  
 外2団体  
 (中野市大字永江664番地1号)

## ■陳情

◎最低制限価格の設定に関する陳情  
 陳情者 一般社団法人長野県建築士事務所協会  
 会長 小河 節郎  
 外1団体  
 (長野市岡田町124番地1)

◎「テロ等準備罪」、いわゆる「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する陳情  
 陳情者 北信地区憲法をまもる会  
 会長 涌井 純生  
 (中野市三好町一丁目1番19号)

## 表紙の写真

### みなみ保育園 開所

昨年度、建設を進めていた、中野市みなみ保育園が完成し、3月22日、しゅん工式が行われました。

この保育園は、1歳児、2歳児の保育室を2部屋ずつ設置し、また、延長保育等を行う専用の部屋も設置するなどし、年齢に応じた適切な保育及び多様化する保育ニーズに配慮した施設となっています。

3月24日には、この新たな保育園で卒園式が行われ、28人の子ども達が卒園を迎えました。  
 また、4月4日には入園式が行われ、園舎には楽しく保育を受ける元気な子ども達の声が響いています。



## ご覧ください 議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。  
 インターネット録画中継は、パソコンをお持ちの方は、いつでも本会議の様を視聴することができます。是非、ご覧ください。

- ▶ 視聴方法 中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス (パソコンのみ閲覧可能です。)
- ▶ 中野市議会ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/gikai/>
- ▶ 配信している議会中継 平成27年6月市議会定例会分～
- ▶ 配信時期 定例会・臨時会終了後、約2週間後に配信します。

## 市議会を 傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。  
 次の市議会定例会は6月です。

## 第4代後期 議会だより 編集委員名簿

(順不同)

委員長	松野 繁男
副委員長	原澤 年秋
委員	芦澤 孝幸
〃	堀内 臣夫
〃	宇塚 千晶
〃	保科 政次
〃	青木 正道
〃	阿部 光則
〃	永沢 清生
〃	町田 博文

## あとがき

厳しかった冬も終わり1年の中でも一番良い季節を迎え、春遅い北信濃にも桜の便りが届く頃となりました。  
 この時期は入園、入学の季節でもあり、夢と希望を持って新たなステージに踏み出した子ども達にエールを送りたいと思います。  
 先日、みなみ保育園のしゅん工式が行われました。広い敷地にコの字型に建物が配置され、多くの光が差し込む構造となっています。内部は木がふんだんに使われており「ぬくもり」が感じられる造りとなっています。卒園児による感謝の歌が披露され、子ども達の喜びが伝わって来ました。  
 今後一層の少子化が予想される中で中野市も子育て環境、教育環境の整備に本腰を入れていく必要性を感じたところからです。  
 子ども達の健やかな成長を祈ります。